

ふるさとの 其の49 誇り

安藤家の雛祭り



主屋勝手に展示している御殿飾り



大正時代のお雛様



昭和30年代終わり頃の御殿飾り



上巳の節句飾り

【関連イベント】

●「春の梅花展」

文化協会盆栽部甲西支部による盆梅の展示

開催日 2月3日(木)～5日(土)
時間 午前9時～午後4時30分
(入館は午後4時まで)
入館料 大人300円 小人100円

●「安藤家で雛語り」

朗読グループ「鈴の会」による、雛祭りにちなんだ朗読会

開催日 2月26日(土)
時間 午後1時30分～2時30分
参加料 300円
定員 50名(要申込)

●「ポタニカルアート教室」

植物本来の姿を観察しながら、色鉛筆で春のお花を描きましょう

開催日 3月12日(土)
時間 午後1時～3時
参加料 500円(材料費含む)
定員 20名(要申込)
持ち物 鉛筆・消しゴム・色鉛筆

●「雛祭りミニコンサート」

南アルプス桃源ウインドアンサンブルによるミニコンサート

開催日 3月19日(土)
時間 午後1時30分～2時30分
参加料 300円
定員 50名(要申込)

2月1日より受付開始

●申込・お問合せ 文化財課
Tel(282)7269 Fax(282)6427

雛祭りは、女の子の健やかな成長を祈って行われる年中行事です。
日本の雛祭りの起源は明らかではありませんが、平安時代、上巳の日に厄を祓って幸せを願う行事と、貴族の子女の遊びごととして行われていたという「ひいな遊び」が融合し、貴族の間で人形を飾り、祀るようになったと考えられています。
やがて江戸時代になると、女の子の人形遊びと節句の儀式が結びついて全国に広がっていき、3月3日は女の子の節句として定着していきます。そして武家の子女など、身分の高い女性の婚礼の嫁入り道具の中に雛人形が入れられるようになります。

安藤家のお雛様

さて、安藤家のお雛様を見てみましょう。
残念ながら、飾っているお雛様は安藤家のものではありませんが、市内の方々から寄贈してもらった、江戸・昭和までの各時代のお雛様は、顔と飾りの一部江戸時代のお雛様は、顔と飾りの一部

は昭和のものになりますが、150年位前のものになります。

主屋勝手に展示してあるのは、御殿飾りのお雛様です。御殿飾りは江戸時代の末期・大正・昭和にかけて人気があったもので、建物の中に内裏雛を置き、側仕えの官女、三人上戸、左大臣・右大臣などの人形を飾るものです。この建物のことを京都では「御殿」と言い、御所の紫宸殿になぞられたものと思われま。昭和30年代中ごろに、段飾り雛に押されて姿を消していきま。とても華やかなお雛様で、安藤家には、大正のもの、昭和初期のもの、昭和30年代のもの、昭和30年末期のを飾っています。

その他、昭和30年代終わり頃から主流になった段飾り雛や絵雛、お茶室には南アルプス市に縁りの小笠原流礼法による、上巳の節句飾りや小笠原雛など約80体のお雛様の展示を行っています。
安藤家住宅の雛祭りは、2月2日(水)から4月11日(月)まで開催しています。
また、期間中は各種イベントも開催する予定です。